

陳 情	受 理 番 号	102	受 理 年 月 日	令和5年2月20日	付 託 委員会	教育福祉
件 名	福祉施設や教育施設で、ゲノム編集トマトの種苗を受けとらないでください 学校給食でゲノム編集された食材を使用しないでください					

陳情書
福祉施設や教育施設で、
ゲノム編集トマトの種苗を受け取らないでください
学校給食でゲノム編集された食材を使用しないでください

私たちは子どもの食の安全を守るために活動している市民団体です。最近、農業や食の安全を脅かすゲノム編集作物が問題になっているため、要望を提出させていただきます。何卒、ご理解ご協力くださいますようお願い致します。

ゲノム編集技術は、生物がもつ特定の遺伝子を壊して本来の性質を変える技術です。簡単に壊せる方法が開発されたことで応用が広がっています。しかしこの技術では、標的以外の様々な遺伝子を破壊してしまう「オフターゲット」現象がしばしば起こることがわかっています。その結果、予期しない変異を起こし、新たな毒性やアレルゲン、がん誘発物質の発生など、未知の問題につながる可能性が指摘されています。

ゲノム編集トマト「シシリアンルージュ ハイギャバ」を販売するバイオニアエコサイエンス社は、全国の福祉施設や障がい児福祉施設、小学校等の教育施設へ、その苗を無償配布する計画を発表しました。教育施設へは2023年に開始するとのことでした。

ゲノム編集技術の食品への応用には本来、厳格な検査と規制が必要ですが、日本政府は、「ゲノム編集は遺伝子を切り取るだけで、他の遺伝子を組み込んでいないので、遺伝子組み換えでない」などとして、遺伝子組み換え作物や食品に課せられていた審査や規制の対象外としています。環境への影響を評価する試験や食品としての安全性審査、消費者に対する食品表示を義務づけておらず、当然、ゲノム編集トマト「シシリアンルージュ ハイギャバ」に関しても、そのような審査や試験が行われていません。

自然や生物の健康へ影響を与えてしまうことを強く懸念する消費者団体、農民間体、食の安心安全を求める各NGOも、同トマトをはじめゲノム編集された生物の放出と食品の栽培、流通に強く反対しています。2023年1月現在、全国では875の自治体に対してゲノム編集されたトマトの種苗を受け取らないでほしいとの働きかけが市民団体等により行われており、それに対して「受け取らない」と回答した自治体が202となっており、「受け取る」と回答した自治体は0です。

2022年11月8日に当団体の個人が、那覇市の電子相談システム「市長への手紙」を通して「ゲノム編集トマト苗の学校配布受け取りに反対」と題した要望を提出したところ、那覇市教育長より要望に配慮した回答を頂いております。(別紙参照)ただし、企業による配布計画が2023年からといわれていることや高等学校にも配布される可能性があること、ゲノム編集トマトの安全性の問題についての情報が不足していることを考えると、今後、先生方が受け取る可能性は十分に考えられます。

したがって那覇市議会において、安全性に強い疑念のあるゲノム編集トマト「シシリアンルージュ ハイギャバ」の種苗の受け取りについてご判断いただき、福祉施設や教育施設の職員に対して受け取らないようにとの周知を行って頂きたいと強く要望いたします。安全性が確認されていない食品を子どもたちに栽培させたり、食べさせたりすることは許されないと考えます。ついては、下記事項について要望

します。

記

- 1 貴自治体の福祉施設や教育施設がパイオニアエコサイエンス社から配布予定のゲノム編集トマトの種苗を受け取らないように現場の職員へ周知してください。
- 2 食品としての安全性が確認されていないことを周知してください。
- 3 学校給食でゲノム編集された食材を使用しないでください。

以上